

そよ風

庄原赤十字病院
広報誌

vol.93

2024.5月

【特集】

2024年新任医師のご紹介

【TOPICS】

新入職員代表あいさつ
栄養士のはなし

心不全療養指導士を取得しました
補助金で医療機器を更新しました
お知らせ イマの庄原日赤

2024年 【特集】 新任医師のご紹介

新たに9名の医師が仲間入りしました！
よろしくお願いします。



内科部長

なると けんすけ
鳴戸 謙輔

庄原市の医師育成奨学金の御縁もあり、2016-19年に内科後期研修医として赴任させていただき、広島大学病院 肝臓内科を経て再び戻って参りました。

話が長くなりがちですが、なるべく待たせないよう努めますので宜しくお願いします。



皮膚科部長

いなづか ゆきこ
稲束 有希子

備北地域の皆様のお役に立てるよう皮膚科全般にわたる診療を行っています。

精一杯頑張りますので、どうぞよろしくお願いいたします。



循環器内科
副部長

しまじり ひろと
島尻 寛人

地域においても質の高い医療を提供できるよう精進して参ります。宜しくお願いします。



総合診療科医師

たけむら ゆり
竹村 優李

令和6年度より赴任いたしました竹村と申します。

微力ながら、庄原の医療に貢献できるよう日々精進いたします。何卒よろしくお願いします。



腎臓内科医師

くにはら そうし
國原 蒼士

内科の國原と申します。備北地域の医療に貢献できるよう日々精進してまいります。

よろしくお願いいたします。



小児科医師

ひらかわ はるき
平川 明樹

備北地域の小児医療に微力ながら貢献できるように頑張ります。よろしくお願いいたします。



外科医師

ひろの きんじ
廣野 欣司

患者様に寄り添った医療を心がけております。

外科領域でお困りの際はお気軽にご相談ください。



外科医師

みつおか あすか
光岡 明日香

幼少期を過ごした庄原で医療者として働くことができ嬉しく思います。

よろしくお願いいたします。



整形外科医師

まつしま だいち
松島 大地

微力ではございますが、庄原の医療を支える一助となれるよう日々精進してまいります。整形外科的に何かお困りのことがあれば気軽にご相談ください。

退任医師 (令和6年3月31日付)

救急集中治療科部長 河原 卓美
小児科副部長 船木慎太郎
第一整形外科副部長 木戸 佑基

第二外科副部長 中村 峻輔
内科医師 眞田 莉花
内科医師 末田 咲

循環器内科医師 森本 皓大
内科医師 河原 倫彦
内科医師 岩田 健吾

新入職員代表あいさつ

南3階病棟
看護師

せと みゆき
背戸 美祐妃



私は幼少のころ、庄原赤十字病院で入退院を繰り返していました。不安や孤独で押しつぶされ、眠れなかったとき、看護師の方が優しく寄り添い、私が眠れるまでそばにいてくださいました。このことから、私は幼いながらも安心感と人のあたたかさを感じることができました。ここで感じたあたたかさを今度は私が返したいという思いから看護師を志し、本日より看護師として従事させていただきます。今の私がここにあるのは、看護師になるという幼少からの夢を支えてくれた家族に加え、夢を与えてくださった看護師さんの姿があったからです。

ここに並んでいる仲間とともに庄原赤十字病院で働けることを大変ありがたく、うれしく思っ

ております。私たちは庄原赤十字病院の理念である、人道・博愛・奉仕の赤十字精神に則り、地域の皆様方の健康・医療・福祉を職員一丸となってお守りすることを胸に、本日から皆様とともに地域の皆様方へ貢献できるよう尽力いたします。

各々に秘めた思いや決意を新たに、最大限の努力をしてみますが、未熟でありますので、皆様からのあたたかいご指導、ご助言をよろしくお願い申し上げます。



栄養士のはなし

野菜は1日350g摂取!

この目標値は、厚生労働省が健康づくりのために提唱した『健康日本21』で掲げられているものです。カリウムや食物繊維、ビタミンなど、健康を維持する栄養素は野菜から摂取されやすいことから、必要な量として算出された数字です。

『健康日本21』では、カルシウム源としても緑黄色野菜の摂取目標値を1日120g以上としていますので、これを350gに当てはめると、緑黄色野菜を120g+淡色野菜を230gが内訳の目安と考えられます。



野菜350g組み合わせ例



野菜350g調理例

「こうしてみると意外に少ない!」と思った方は、普段からしっかり野菜を食べているのかもしれませんが、反対に「ちょっと多いかも!」と感じた方は、もう少し食べるように心掛けてみてくださいね。

※治療上制限が必要な方はご注意ください

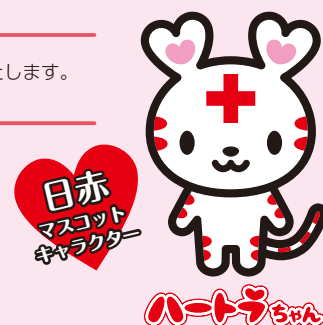
▶基本理念

庄原赤十字病院は、人道・博愛・奉仕の赤十字精神にのっとり、地域の皆様方の健康・医療・福祉を職員一丸となっておまもりいたします。

▶患者さまの権利

患者さまには以下の権利があります。私たち、庄原赤十字病院の職員は、このことを十分尊重した医療に務めます。

- 一、だれもが、良質で安全な医療を平等に受ける権利があります。
- 二、思いやりのある、個人の尊厳が守られる医療を受ける権利があります。
- 三、治療に際し、わかりやすい説明を理解できるまで受け、治療法を選択あるいは拒否する権利があります。
- 四、診断や治療に関して、別の医師の意見を聞く権利(セカンドオピニオン)があります。
- 五、個人のプライバシーが守られる権利があります。
- 六、自分の診療情報の開示を求める権利があります。
- 七、健康に関する指導や情報提供を受ける権利があります。



「心不全療養指導士」資格取得しました

南5階病棟 田坂 晃子



この度、心不全療養指導士の資格を取得しました。我が国において心不全患者が現在約100万人いると推計されていますが、しばらくは増え続けると言われており、「心不全パンドミック」と呼ばれています。

庄原市においても、心不全のため入院する患者様の数も増加傾向にあります。一度心不全と診断されると、増悪と緩解を繰り返しながら長い経過をたどっていきます。

この資格は、心不全の発症を予防したり、一度なってしまった心不全をできるだけ悪化させず過ごせるよう、お手伝いをする資格です。当院においても、理学療法士・栄養士・薬剤師などと協力しながら心不全発症予防・進展予防を行っています。

また、心不全手帳というものをお渡しし、血圧や体重を記入してもらい、受診時に持参いただいたり、地域の方にもご協力してもらい、デイサービス利用時に記入してもらおう取り組みもしています。患者様・地域の方々・当院職員と協力しながら皆様の力になれたらと思います。



お知らせ

補助金で医療機器を更新しました

血管造影撮影装置 (DSA) を整備

医療施設等施設整備・設備整備事業補助金 (病院群輪番制病院設備事業)

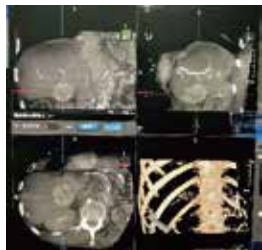
新しい血管撮影装置 (DSA) Canon製のAlphenix Skyが2月13日より稼働しています。

まずは装置の可動範囲ですが、頭からつま先までの全身をカバーできる広い可動範囲を有しています。患者さんの左右方向(横手)への移動もできるため、橈骨動脈穿刺やシャント検査の際などは手技をスムーズに進めることができます。

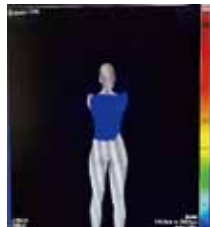
次に最新のワークステーションを用いることでさらにステントやワイヤーの視認性がよくなり、CTで撮影した3D画像と連動してCアームを動かせるようになっています。

さらにDSA室内でCTが撮影でき、ワークステーションで処理できるようになりました。ケースバイケースですが、腹部アンギオ検査においてCT室への移動を行わなくてもいい場合もあり、検査がスムーズに行えるようになりました。

最後に被ばくの面でも良くなっています。X線の照射範囲を、事前に設定した必要な範囲にのみ絞って照射することが可能で、照射範囲を絞れば絞るだけ患者被ばくが低減されるだけでなく、術者の被ばくも抑えることができます。それに患者さんの皮膚表面の被ばく状況をリアルタイムに把握することができるようになったので、過剰被ばくの抑止へとつながっています。



DSAで撮影したCT画像



皮膚表面被ばく量表示

お知らせ

イマの庄原日赤

令和6年5月現在

▶ご来院される方へ

来院時はマスクを着用していただき、入館前には必ず手指消毒と検温をお願い致します。

また、来院前に、熱・風邪症状、味覚嗅覚異常などがある場合は検温場所で職員へお声がけください。

お問い合わせ

☎0824-72-3111

▶病棟での面会

新型コロナウイルス感染症に伴い、「面会制限」を行っています。

◆原則、家族 1回 2名とする (中学生以上)

◆面会時間は、13時から17時まで (15分以内)

◆受付場所は、平日(医事課受付①②) / 土日祝日(ポプラ前防災センター)

※状況により、面会の可否を変更する場合があります。

面会でご来院の方は、窓口にて確認をお願い致します。

面会制限

一部制限があります
ご確認ください

